

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.8.31 No. 238 連絡先 FAX 042-555-1911



「横田基地の撤去を求める西多摩の会」第8回総会開かれる

8月30日(日)は、「戦争法案廃案！安倍政権退陣！」を迫る大行動が行われ、12万人が国会を包囲し、全国各地でも大行動が取り組みました。この日、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の第8回総会が羽村市内で開かれました。「撤去の会」総会も、戦争法案廃案の大行動と心一つに、1年間の総括や今後の方針、特別決議「戦争法案強行を許すな！日米政府はすべてのオスプレイ配備を撤回し、辺野古新基地を断念せよ！」を確認し、第2部では基地問題の専門家、小泉親司さん(右写真)を講師に「日米新ガイドラインと横田基地」を学びました。講演は大変重要な内容で、皆さんに知っていただけるよう準備中だそうです。



オスプレイ 富士演習場、厚木基地で離着陸訓練

8月21～29日

南関東防衛局から「富士演習場で8月21日(金)から8月29日(土)まで離着陸訓練をする」と地元自治体に通報されました。8月20(木)19時15分から28分までに、オスプレイ4機(虎01、02、07、09)が、厚木基地に着陸しました。「厚木基地周辺住民の会」と共産党が、21日、厚木基地司令官に抗議・申し入れしました。(写真:住民の会提供)



8月21日13時07分、08分、2機(虎02、01)がキャンプ富士着陸。13時15分過ぎ、債権連盟の人たちにオスプレイ2機を公開。15時過ぎ周辺を飛行。20時過ぎ2機は厚木基地に着陸。

23日(日)8時38分、8時42分、2機(虎02、虎07)がキャンプ富士着陸。10時、総合火力演習始まる。12時過ぎ演習終了後、会場をオスプレイ1機が旋回。15時少し前、2機がキャンプ富士を離陸しました。また厚木基地では、25日、26日には、横浜市上空を20回も旋回し、27日、28日には、タッチアンドゴーが17回確認されたそうです。

8月23日 オスプレイ2機 横田基地にも飛来

総合火力演習を東富士演習場で実施する23日(日)、7時53分と8時4分にオスプレイ2機(虎07、02)が横田基地に着陸し、8時20分、8時22分に離陸し、キャンプ富士に向かいました。誰かを迎えにきたのでしょうか。そして、15時13分オスプレイ1機(虎02)が横田基地に着陸、15時23分に離陸し、厚木基地に向かいました。(左上:固定モードで着陸、左下;ヘリモードで着陸、窓を開け目視確認。撮影8月23日朝)



8月31日 またオスプレイ1機が横田基地に

8月31日10時27分、オスプレイ1機が横田基地に飛来しました。何のためでしょうか。最近では、飛来後に住民に情報が届きます。

横田防衛事務所にオスプレイに関する要請を届ける

(No. 238 の裏面)

8月21日(金)の午後、オスプレイ配備反対連絡会(横田基地問題を考える会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地もいらない！市民交流集会実行委員会、横田・基地被害をなくす会、第2次新横田基地公害訴訟原告団、第9次横田基地公害訴訟原告団)の代表5人が、福生市内の横田防衛事務所に、「横田基地におけるMV-22 オスプレイの富士演習場での訓練中止及び横田基地・厚木基地への飛来中止についての要請」を届け、CV22 オスプレイ配備計画についても撤回するよう要請しました。北関東防衛局横田防衛事務所の中谷豊所長が対応してくれました。(写真：中谷所長に要請する代表ら)



米軍ヘリMH-60 特殊作戦機 沖縄・うるま市沖で墜落

8月12日、沖縄県うるま市沖で米軍ヘリMH-60 ブラックホークの墜落事故が起きました。

乗組員17人は全員救助されましたが、7人が負傷しました。負傷者の中に陸上自衛隊員が2人がおり、骨折と切り傷を負いました。陸上自衛隊員2人は防衛相直属の中央即応集団所属の2等陸曹で、同集団のなかでもテロリストの攻撃などに対応する特殊作戦群の隊員でした。

事故機は米陸軍第160特殊作戦航空連隊第4大隊所属で1993年のソマリアでの武装勢力幹部拉致作戦や2011年のパキスタンのビンラディン暗殺作戦に投入された陸軍の精鋭部隊です。

今回の事故も、海賊に乗っ取られた船を奪還するための低空飛行訓練を実施していましたが、船のクレーンに衝突し墜落したものの。特殊作戦の低空飛行が危険であることを示しています。

事故機定員オーバーだった 陸自隊員の米軍ヘリ搭乗は 5年前から

事故機の米軍ヘリは、定員16名なのに17名が乗っていたことも分かりました。

この事故機には、負傷した2人を含め、10人の自衛隊員が搭乗していました。

陸上自衛隊の「特殊作戦群」所属の隊員が搭乗していた件に関し、中谷元・防衛相は14日、「研修は5年ほど前から(2009年から)実施していた。」と述べました。「研修」と言っていますが米陸軍トップのオディエルノ参謀総長は「いくつかの国との特殊作戦部隊の訓練中だった」と説明しており「訓練中」だったのです。オディエルノ参謀総長は、「我々の日々の任務にリスクはつきものだ」「一つの事故に過剰反応するつもりはない。残念だが事故は時々起きる」などと強調。事故を重要視しない姿勢に、沖縄では、議会での抗議や、怒りがわき起こっています。

7月20日～25日 厚木を拠点に東富士演習場で訓練 小山市で空砲落下

沖縄で墜落した米軍ヘリMH-60(63号機)は、他のMH-60ヘリ2機とともに、厚木基地に空輸され、厚木基地を拠点に、7月20日から25日まで東富士演習場で離着陸などの訓練をしていました。21日には静岡県小山町で機関銃の空砲3発を中学校の校庭に落下されたのも3機のヘリコプターのいずれかです。また、訓練期間中、厚木基地上空では同ヘリが側面のドアを全開して左右3人ずつ機外に足を投げ出して座る



兵士を乗せて飛行しています。人口密集地での危険な米軍ヘリの訓練も本当に許すことができません。(写真：厚木基地で訓練するMH-60ヘリ。大和市平和委員会提供)